



学校だより

令和4年 10月31日

# 横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka>



## 広がる学びの場

校長 仲川 美世子

先日の土曜参観では、多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。コロナ禍になって初めての土曜参観、グループを作って人数制限する開催ではなかったので、どのようなことになるか心配しながらでした。児童の席が以前と違って一人ずつ机を離しているため、教室の左右に入っていくことが難しく、ベランダからご覧いただいた方もいらしたと思います。天候や気候がよかったので助かりましたが、ご不便をおかけして申し訳ありませんでした。次回は2月の平日に予定しています。今回の開催でお気付きのことがおありでしたら、明日の懇談会や12月に実施するアンケートでお知らせいただければと思います。

さて、その授業参観の中で、総合的な学習の時間（以下「総合」）を公開した学級がありました。今年度本校では、教員が学び合う研究として、この「総合」とし、2年生は生活科を取り上げて力を入れています。生活科は教科、「総合」は教科外という違いはありますが、どちらも主体的な学び方を大切にする学習です。知りたい、やってみたい、どうしてだろう、といった自発的な思いを大切に、そこから学習が始まったり広がったり深まったりします。決まっていることを順序よく学んでいくというより、ぶっつけてやってみて失敗することもあります。失敗から学んでいくことも大切にしています。また、そうならないようにいろいろな人の助けを得たり、学んだことを校内にとどまらず多くの人に広げていったりする活動もあります。

実際、3年生では地域の方に教えていただいてより一層興味や関心がわいて学習に広がりを見せているクラスもあります。また、4年生では自分の足で学区内を歩いて、気付いたことから学びを深めようとしているクラスもあります。5年生では他の国、地域に目を向けているクラスもあります。6年生では青葉区役所の方に来ていただいて話を聞いたり、まちのお店の活動に興味を持ったりしているクラスもあります。いろいろな活動が始まってとても担任や学校の職員だけでは行き届かず、ご家庭のご協力をいただいているお子さんもいるかと思っています。今後も必要に応じて担任からの依頼がいくかもしれません。

次に頼みにするのは地域の力です。榎が丘小学校は開校48年目となり、保護者の方の中に卒業生も増えてきました。よりよい学校づくりのために、これからも保護者の力、地域の力をお借りしたいと思います。そのためにこのたび、「榎が丘小学校地域学校協働本部」が開設されました。具体的には研修を受けて横浜市より任命された学校地域コーディネーターを中心として、地域と学校が一つになって子どもたちの教育に携わりましょう、というありがたい存在になります。いずれ改めてコーディネーターの方をご紹介しますと思いますが、今後、教育活動の様々な場面で皆様のお力をお借りしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。